

# 一般質問



【一般質問】町の様々な課題等について、議員が町長等に対して質問や提案をすることです。



動画は  
こちら



教育

問

子どものスポーツ環境整備を

答

熱中症対策を強化、  
施設はできる支援を積み上げ

## 藤山 大議員

町内スポーツ少年団との懇談会にて確認された現状と今後の要望について伺います。

- ① 利用されている施設の暑さ対策は？
- ② 渡島西部四町の中で野球場が整っていないのが福島町だけなので、必要最小限の環境を整えては？（雨除けプレハブ等）
- ③ 児童生徒の対外競技等参加経費補助要綱第4条に定められている補助対象条件の緩和を検討しては？（現在、全道・全国大会が対象）
- ④ 福島町での各スポーツ大会の開催を積極的に検討しては？

## 小野寺教育長

- ① 総合体育館（遊戯室等）に、新年度に向けエアコン設置の予算要望を検討中。
- ② 現状でも夜間照明があり、競技に支障のない環境と認識している。プレハブ等の設置は敷地が狭く難しい。大会時はテント活用等で支援。
- ③ 地区大会出場の経費は受益者負担が原則であり、渡島管内での大会まで補助対象とすることは現時点では考えていない。
- ④ 全国中学校相撲選手権大会など開催実績があり、要請があれば施設の無償貸館等で可能な限り協力している。



動画は  
こちら



福祉

問

介護サービスの利用状況、  
介護人員確保策、財政支援は

答

人材確保策を重ね、  
事業所の経営安定支援を継続

## 熊野 茂夫議員

当町の介護保険サービス利用の現状と今後の施策について基本的な考えを伺います。

- ① 特別養護老人ホーム陽光園、グループホーム、やまゆり荘、施設それぞれの利用状況。
- ② 訪問介護サービスの介護度別の利用状況。
- ③ 介護員の人材確保、育成についての考えは。
- ④ 施設介護、訪問介護に対する今後の財政的支援についての考えは。

## 鳴海町長

- ① 特別養護老人ホーム陽光園：44名/定員50名。  
グループホーム：8名/定員9名。  
やまゆり荘：12名/定員20名。
- ② 要支援1・2：18名。要介護1～5：74名。
- ③ 資格取得費や外国人介護従事者雇用助成を継続。留学生2名へ奨学金支援（陽光園に就職する条件付き）。新たな就労奨励金制度を創設する方向で令和8年度予算化に向け検討中。
- ④ 引き続き、各介護事業所の経営安定に重点を置いた支援を行っていく。



## 平沼 昌平議員

令和7年も残すところわずかだが、本町においても人口減少対策、産業振興、教育、環境、防災など、様々な課題に取り組んできました。

この一年を振り返り、成果と課題を確認し、令和8年に向けて町としてどのような方向性を描いていくのか、町長、教育長の考えを伺います。

## 鳴海町長

7月のヒグマによる人身事故により状況が一変。町民の命が失われ、町内にも大きな影響。

### ○成果

ヒグマ対応：電気柵設置などの迅速な対応で安全確保、商品券発行で経済の循環も回り、ヒグマ対応の先駆的な取り組みと評価された。

漁業：養殖昆布・ウニ等の生産額が約14億円、前年の1.2倍で近年最高水準。

### ○課題

ヒグマ警報によりイベント中止が相次ぎ、町内経済に甚大な影響が出た。

### ○来年の方向性

厳しい年だったが、厳しさが町民の団結力や新たな挑戦につながった。新たな年は、交流人口の増加に向けた取り組みに挑戦する。

動画は  
こちら



行財政

問

この一年の成果と課題、  
来年の展望は？

答

町長

ヒグマ禍を乗り越え、交流人口増へ挑戦

教育長

高校は前進、次の課題は義務教育学校

## 小野寺教育長

### ○成果

福島商業高校の入学者が2年連続20名超となり、来年度も現時点で新潮学舎への入居申し込み者が11名あるなど、安定的な生徒確保に前進できたと考えている。町外からやってくる生徒も、アルバイトや行事参加などを通じ、地域に欠かせない存在となってきたように感じている。

小・中・高校で行っている地域学習（郷土芸能、農漁業学習、就業体験等）が展開され、福島町に根差した教育活動が定着してきたように思う。

### ○課題

ヒグマ人身事故の際、児童生徒の安全確保と教育活動の継続について、瞬時の対応を迫られた。（保護者や各関係機関の協力に感謝）

少子化や施設の老朽化による教育環境の変化に対する対応を急がなければならない。

### ○来年の方向性

令和8年は義務教育学校について検討を進めていかなければならないと考えている。年明けに議会との意見交換の場を設けたい。



## 義務教育学校って何？

小学校～中学校にあたる9年間を「同じ学校」として学ぶ仕組み。

子供たちは学年のつながりを意識しやすく、小中の教職員が連携しやすい。

渡島管内では、七飯町立大沼岳陽学校、函館市立戸井学園などがあります。